

令和六年度

龍谷大学付属

平安中学校入学試験問題

受験番号

国語

解答上の注意

- 一. この問題用紙は「はじめ」の合図があるまで開いてはいけません。
- 二. 答えはすべて解答用紙の決められたところに書きなさい。
- 三. 解答用紙の決められたところに受験番号を書きなさい。氏名を書いてはいけません。
- 四. 問題を読むときに、声を出してはいけません。
- 五. 問題内容についての質問は受けません。
- 六. 印刷が読みにくいときは手をあげて監督者を呼びなさい。
- 七. 「やめ」の合図があったら解答用紙をおもて向け、問題用紙を解答用紙の上に置いて、回収が終わるまで席を離れてはいけません。（問題は持ち帰ることができません）

問題は次のページから始まります。

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

あなたは、悩みがある時、人に相談できますか？ それとも相談せずに、**A**相談できずに一人で悩むタイプですか？

高校生のわたしは、相談できないタイプでした。相談しても、はぐらかされたり、悩んでいることを笑われたりして、真面目に受け止めてもらえないだろうと思っていました。要するに、自分をさらけ出して傷つきたくなかったのですね。ふりかえってみると、当時のわたしには目に見えない気持ちや考えを**I**する力がなかったのです。だから、人に悩みを打ち明ける勇気もありませんでした。

自分のことなのに言葉にできないのは、なぜでしょう。

それは、自分の気持ちが変わらないからです。わからなければ言語化できるはずがありません。**B**、それをなんとか表現しようと試行錯誤する中で理解できることもあるでしょう。チャレンジする価値はあります。

ダブル・リミテッドという言葉聞いたことがありますか。子どもの頃に複数の言語を使用する環境で育ち、母語の習得が十分でない場合に、深い思考ができなくなってしまう問題です。日本で生まれ育った日本人を両親にもち、九歳の時に親の仕事の都合でアメリカにやってきて、現地で高校生になった人がいます。家では日本語、外では英語を話し、日英の※バイリンガル。うらやましいと思うかもしれませんが、母語の習得が十分でない、もう一方の言語の力も育ちにくく、日常的なことはわかっても、ものごとを深く考え抜いたり、抽象的で難解な問題を思考したりできなくなる場合があります。

①これは、思考が言語に支えられていることを示しています。人間は、言葉を通してものごとを考えます。**C**、自分が使う言葉の範囲をこえては思考できません。

(中略)

D、何かにむかついたとしましょう。自分の中に「むかつく」という言葉しかなければ、それ以上の気持ちは把握できません。だから、気持ちを抑えきれずキレてしまう。**II**があれば、自分がなぜむかついたのかを分析し、どんな気持ちか伝えられるのではないのでしょうか。

「太ってるね」と人から言われてむかついた場合を考えてみましょう。

スタイルのよい人から言われたのなら、その人に嫉妬して不愉快に思ったのかもしれませんが。太っているのを気にしていると相手が知っているなら、わざわざ言うなんてひどい、傷つけようとしていると感じて憤慨したのかもしれませんが。そんなことを面と向かって言う人を軽蔑する気持ちもあるでしょう。

このように、なぜ「むかついた」のかを把握できたら、それを相手に伝えて、そんなふうには言わないでほしいと伝えることもできるのです。

この時、②言葉は、あなたの武器になります。(中略)

では、武器をレベルアップするには、どうしたらよいでしょうか。

おすすめは、辞書、とくに類語辞典を使って語彙力を増やし、表現の幅を広げることです。まず、③「むかつく」を類語辞典で調べてみましょう。「むかつく」は、「しゃくに障る」、気に入らないことがあって腹が立つという意です。近い意味の語に、「おこる」「いかる」「気に障る」「むくれる」「ふくれる」「気色ばむ」「腸が煮えくり返る」「腹の虫が承知せぬ」「八つ当たり」「激怒」「憤る」「悲憤」「嘆く」などがあります。

「おこる」と「いかる」は、どちらも「怒る」と書きますが、「おこる」は興奮して気を荒くする意のほか、叱るといいう意味もあります。「いかる」には叱る意味はありませんが、「おこる」

にはない角張っているという意があり、「肩をいからせて歩く」などと使います。「むくれる」は怒ってブンとする、「ふくれる」は機嫌を悪くして、ふうつとした顔をする。「憤る」は恨んで怒る、そこに悲しみが加わったのが「悲憤」です。「怒り」の表現も、いろいろありますね。

こうやって、似た意味の言葉を見ているだけでも、自分の「むかつく」の正体を考える手がかりになるのではないのでしょうか。

④言葉が、心を育てるのです。

言葉は今を生き抜く武器。その鍛えかたを、感情にまつわる動詞「むかつく」を例に説明しました。その力を磨くには、具体的に語ることも欠かせません。ありふれた言葉が説得力を持つようになるからです。

世界の共通語となった形容詞「Kawaii(カワイイ)」を例に考えてみましょう。Kawaiiは、日本のアニメ、ファッション、キティちゃんなどのキャラクターを通して、今や世界中で使われています。(中略)

「かわいい」は、若い女の子は何を見ても「かわいい」しか言わないと、揶揄されるくらい便利な言葉です。でも使いやすいからといって、それだけを連発してよいのでしょうか。このひとことで、わかったつもり、言ったつもりになつてしまいますが、考えないで済む、楽な言葉ばかり使っていると、武器は決して強くなりません。

「かわいい」の先に進んで、自分なりの感じかたを知り、しつくりくる言葉をつかむには、どうしたらよいのでしょうか。

⑤そのヒントが、千年以上前に書かれた清少納言の『枕草子』にあります。国語の教科書でもおなじみの「うつくしきもの」の章段です。

古語「うつくし」の意味を確認しておきましょう。「うつくし」は、古くは妻や子どもなど、家族へのいつくしみの情愛を

意味しました。時代とともに語義が広がり、いとおいしいという慈愛の気持ちから、幼い者や小さいもののかわいらしさ、さらには自然や物などの美一般、きちんとして整っている状態や好ましい印象のものにも使われるようになりました。意味する範囲が広く、小さくてかわいらしいものに使う点で、現代語の「かわいい」に通じますね。

『枕草子』「うつくしきもの」は、「くもの」ではじまり、様々なものごとを列挙する「物づくし」の章段です。清少納言が「うつくし」と感じるものが書き連ねられているだけですが、とても具体的に書かれています。それを読むうち、**⑥彼女が何を「うつくし」と思っていたのか、その感性がわかってきます。**ここでは、よりわかりやすくなるよう、改行を多く入れて読んでみましょう。

うつくしきもの。

瓜にかきたるちこの顔。

雀の子の、ねず鳴きするにをどり来る。

二つ三つばかりなるちこの、いそぎてはひ来る道に、いとちひさき塵のありけるを目ざとに見つけて、いとをかしげなるおよびにとらへて、大人などに見せたる、いとうつくし。

頭はあまそぎなるちこの、目に髪のおほへるをかきはやらで、うちかたぶきて物など見たるも、うつくし。

最初は、瓜に描いた子ども顔。甘くみずみずしい瓜と、あどけない子どもの顔は、ほほえましい組み合わせです。次から描写がどんどん具体的になっていきます。

まずは、雀の子がネズミのように鳴いてピョンピョン近づいてくる様子。

次に、二、三歳の子どもが急いでハイハイしてくる途中で小さなチリがあるのを目ざとく見つけて愛らしい指でつまんで大人に見せる様子。

最後に、おかつぱ頭の子どもが目に髪がかぶっているのを手で払わず、そのすきまから顔を傾けて物を見ている様子。「頭はあまそぎなるちご」は、髪を払いあげもしないのですから、まだ幼さの残る少女でしょう。「あまそぎ」は、肩のあたりで切りそろえた、**※**尼さんのヘアスタイルですが、五、六歳の少女もこの髪型をしました。

これらを読むと、どれも情景が浮かんできます。そして、そこから清少納言の「うつくし」は、あどけない存在が一生懸命に何かしようとしている様子をいうと理解できます。

順番にも注目してみましよう。雀の子、二、三歳の幼児、おかつぱ頭の少女と、小さい順に並べられているのに気づいたでしょうか。何となく列挙されているのではなく、よく考えられた文章だとわかりますね。

この「うつくし」は抽象的な言葉です。「抽象的」とは、具体的なものと共通する性質を抜き出して意味内容を一般的にとらえるさま。

この章段は、具体例をあげながら、清少納言の感性がとらえた「うつくしきもの」をあらわしています。つまり、「うつくし」のような抽象的な言葉も、具体的なものと結びつけば、自分だけの表現になるといっわけです。

たとえば、あなたが「かわいい」と感じるものを選んで、どこが、どのように、なぜ、かわいいのかを考えてみてください。清少納言にならって四つ選び、「かわいい」と思う理由をできるだけ具体的に書いてみる。そうするうちに、自分だけの感じかたが見えてきて、それをどう描くかも考えたくなるでしょう。こうやって抽象と具象のあいだを行き来する中で表現力が鍛え

られるのです。

(『国語をめぐる冒険』所収 平野多恵「言葉で心を知る」)

※(文中のことばの意味)

バイリンガル : 二か国語を自由に話すこと。また、話す人。

揶揄 : からかうこと。

尼 : 仏教などの宗教にはいって、仏や神につかえる女人。

問1 **A** **D** にあてはまることばの組み合わせとして、

最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | |
|---|---|------|---|-------|
| ア | A | たとえば | B | したがって |
| | C | ところが | D | さて |
| イ | A | もしくは | B | でも |
| | C | だから | D | たとえば |
| ウ | A | あるいは | B | たしかに |
| | C | そして | D | しかし |
| エ | A | むしろ | B | ただし |
| | C | つまり | D | あるいは |

問2 **I** にあてはまることばを文中から三字でぬき出しなさい。

問3 ———線①「これ」とありますが、指示する内容として最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 子どもの頃に複数の言語を使用する環境で育つと、話せるようになること。
- イ 母語の習得が十分でないと、ものごとを深く思考できなくなってしまうこと。
- ウ 家では日本語、外では英語を話すバイリンガルをうらやましく思うこと。
- エ 抽象的な問題を思考できるようになるためには、複数の言語を学ぶ必要があること。

問4 ———線②「これ」にあてはまることばとして、最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 語彙力
- イ 行動力
- ウ 説得力
- エ 思考力

問5 ———線③「言葉は、あなたの武器になります」とありますが、どういうことですか。最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 言葉は、使い方に注意しないと、簡単に人を傷つける道具になってしまうということ。
- イ 言葉は、周囲の人と戦って、社会を生きぬくために欠かせない能力だということ。
- ウ 言葉は、人の心を分析する専門的な見方を育ててくれるものだということ。
- エ 言葉は、自分の気持ちを他者へ伝えるための有力な手段になるということ。

問6 ———線④「むかつく」を類語辞典で調べてみましょう」とありますが、「むかつく」の類語としてふさわしくないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 堪忍袋の緒が切れる
- イ 目に角を立てる
- ウ 手に汗を握る
- エ 虫酸が走る

問7 ———線④「言葉が、心を育てる」とありますが、どう
いうことですか。最もふさわしいものを次の中から一つ選
び、記号で答えなさい。

- ア 辞書にのっている言葉が、自分の気持ちを細かく教えて
くれるということ。
- イ 新たに身につける言葉が、自分の気持ちを豊かに養って
くれるということ。
- ウ 自分の知っている言葉が、自分の気持ちを大きく成長さ
せてくれるということ。
- エ 意味の似ている言葉が、自分の気持ちを正確に形作って
くれるということ。

問8 ———線⑤「そのヒントが、千年以上前に書かれた清少
納言の『枕草子』にあります」とありますが、『枕草子』
から読み取れるヒントとはどのようなことですか。「と
いうこと。」につながるように、文中から三十字以上三十
五字以内でぬき出しなさい。句読点なども字数に数えます。

問9 ———線⑥「彼女が何を『うつくし』と
思っていたのか、その感性がわかってきます」とありますが、清少納言が「う
つくし」と思っていたものは何ですか。文中から二十五字
でぬき出しなさい。句読点なども字数に数えます。

問10 本文について説明したものとして、最もふさわしいもの
を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 高校時代の経験やダブル・リミテッドの問題を取り上げ、
言葉を使って自分の考えを他者に伝える難しさを述べよう
としている。
- イ 「むかつく」や「かわいい」という身近な言葉をきつか
けにして、言葉を通して自分の心と向き合う方法を示そう
としている。
- ウ 類語辞典の活用を提案することで、自分の気持ちをコン
トロールできるようにするためには読書が有効だと訴えよ
うとしている。
- エ 『枕草子』「うつくしきもの」の章段を引用することで、
千年以上前から人々の感じ方が変わっていないことを伝え
ようとしている。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

わたし（瑠衣）と広夢と山本は、横浜の高校に通っている。家族のことなどで悩んでいた広夢は、夏休みに入ると奈良にいる単身赴任中の父のもとにいたが、横浜に帰ってきた。

朝方まで降っていた雨も止んで、薄日が差してきた。

「やっぱり日が差すと、海がきれいだなあ。きらつきらっだ」
はしゃぐまいと努力しているのだが、わたしの声はつい弾んでしまう。

目の前には、江の島があつて、わたしたちは歩行者専用の江の島弁天橋を歩いている。足の下を、波が行ったり来たりするのは直接見えないが、平行して走っている車専用の江の島大橋の橋脚なら目の前だ。さぶつと大波に洗われている。

風が強くて、帽子が飛ばされそうになったので、あきらめてバッグにしまった。おかげで髪の毛が逆立っている。

① うわ、このアングルいいや。海面がさ」

大声を上げながら、山本が写真を撮っている。

「ねーねー、僕と瑠衣さんの写真も撮ってよー」

広夢がリクエストする。

「オッケー」

山本がいったんカメラを構えて、

「逆光だなー」

と、立ち位置を変えて、何枚かパシャパシャやっている。わたしは敢えて、広夢から目を背けて、② つんとした顔をしておいた。

実は、山本とわたしは、広夢が奈良からずっと帰ってこないのではないかと心配していたのだ。夏休みいっぱい、あるいは夏休みが終わっても。だから、当初帰ってくると聞いていた日

の翌日に、「受験生だけれど夏らしいことしよう」という名目で、江の島日帰り散歩の予定を入れて、広夢に圧力をかけた。昨日の夜まで、「やっぱり行けない」という連絡が入ることも覚悟していたのだが、③ こちらの悩みなど知る由もなく、広夢は集合場所の鎌倉駅に、「お久しぶりイ」とのんびり現れたのだった。

「二人の写真も撮ってあげるよー」

わたしは自分のスマホで、ピースサインの彼らを撮影した。そんなことをしている間に、長い橋を渡り終えて島に着いていた。もつとこぢんまりとした小さいところだと思っていた。実は、鎌倉に住んでいた頃、一度も来たことがなかったのだ。江の島は陸から眺めるものだと思いついでいた。

目の前の空間はオリンピック広場というらしい。ここから先、島の中央部に向かって長い商店街がある。お土産物店、海鮮丼の店、さらには温泉やホテルもずらりと並んでいる。江島神社の鳥居が近くなってきた頃、左側にたこせんべいの店があった。たくさんの人が行列を作っている。

「食べたいなあ」

つぶやくと、男子たちは賛成してくれた。列の一番後ろに並ぶ。

④ 江の島に來られて嬉しいなあ。瑠衣さんと山本、どっちが決めたの」

広夢が、ふたりを交互に見ながら聞く。

「わたし」

「やっぱりなあ、瑠衣さん、素晴らしい。階段があるからでしょ？」

「ん？ 階段？」

「あれ、知らないでここを選んだの。それはまた逆にすごいことだな。江の島って階段の数が多くて、日本でベスト10に入る

「みたい」

「ウソ！ 知らなかった」

「僕、本格的な階段マニアだから。階段お見さんって呼んで」

「は？」

ふふふ、と広夢は目を細める。

「※先生に誘われて、レースに出るんだ」

「え？ なんの」

「J R 京都駅ビル大階段駆け上がり大会」

「あの、先生がブログに書いてたやつ？ なんぞ？」

「人が足りないんだって。でき」

広夢は、わたしを見つめた。

「瑠衣さんも参加してくれないかな」

「え？」

「もうひとり足りないんだって」

「ちよっと待って。あれ、四人参加で **x** 人足りないって書いてあったよね。そのまんま増えてないってこと？」

「あの階段はすごいから、誘われた人が慎重になるのはわかる。

僕、見てきたんだ」

「え」

広夢にスマホを見せられた。そびえ立つ階段は、悪夢にうな

されそうな迫力だ。せつせと上っている。※ガタイのいいおじさ

んが映っていて、それがタクワンだとわかって笑ってしまった。

「なんでわたし。この人を誘えばいいじゃん」

山本を指すと、彼はカメラを掲げた。

「おれは、二人が参加するなら写真担当で行く！ 面白い写真

撮れそう。てか、いつなの？」

「来年の二月。多分、僕は受験が終わってるから。というか、

それまでに終わる大学を受験する」

「@あべこべかよ！」

鋭く突っ込んでおいた。

タコせんべいの順番がようやく回ってきた。巨大なので、三

人で一枚買って、割って、※シェアした。⑤二人とも気を遣って、

わたしに一番大きい欠片をくれた。

食べ終わってから鳥居をくぐる。

島には、一本道の長い階段があるわけではない。階段と平ら

な場所を繰り返しながら上っていく。多分、以前タクワンが書

いていた。※伏見稲荷と似た感じなのだろうと思う。ぐるっと島

を回る階段があつて、ついさっきスマホで検索したところによ

ると合計約千三百段あるらしい。有料のエスカレーターが⑥手

招きしてくるけれど、広夢はもちろんな階段を上る気満々だ。体

育会系のわたしが、二人よりも先に **y** を上げるわけにはい

かない。

「ふくらはぎが死ぬー」

山本が早めに悲鳴を上げ、写真を撮るふりをして、ちよいち

よい休憩している。広夢は、せつせと同じペースで上っていく。

階段は数十段ごとに踊り場があつて、折り返す。数える気にも

ならないほど長く続く。

最初のゴールとも言える辺津宮の奉安殿まで上ったところで、

既に山本の姿はなかった。お参りをした。続いて、さらに上つ

て中津宮をお参りし、その先の階段を上ってようやく山頂に着

いた。

展望台があつて、ふたりで海を見つめた。ボートが白い線を

海の上に残しながら、猛スピードで滑っていく。

「ねえ、瑠衣さん、本当に参加しない？」

吸い込まれそうな濃い紺色の海を見下ろしながら、広夢が聞

いてきた。ここは、友情とは関係なく⑥はつきりしておかなく

てはいけない。

「わたしさあ、申し訳ないんだけど、そういう※マイナーな大

会に全力投球、つてできないんだよねえ」

「あ、そんなにマイナーじゃなくて、京都市民以外も、全国から参加するみたい」

おそるおそる、という感じで広夢が答えた。

「そういう意味じゃなくって。わたし、全日本選手権がついこの間まで目標だったわけじゃない？」

「ああ……」

「全日本チャンピオンは誰になったか、全国ニュースで放送される。卓球やっつてない人も、結果を気にするような大きな大会。そういうのを目指して生きてきたから」

「そうだよね」

広夢が納得してくれた。我ながら、上から目線の嫌なやつ。でもやりたくないことをやるべきではない、と思った。

「お待たせ」

現れた山本がたいして汗をかいていないのを追及したところ、

「えへへ、エスカーに乗っちゃった」

途中から有料エスカーレーターを利用したらしい。

三人揃ったので、島の裏側の坂を下って行った。こんな[◎]辺鄙なところにも売店やTシャツ専門店や飲食店がある。再び階段が現れた。膝ががくがくしてきているので、手すりに頼った。さらに「※舌に気をつけて」という伏見稲荷でのタクワンのアドバイスを思い出す。どう気をつけていいかわからないが、口をしつかり閉じて、あまり弾みをつけて下りないようにした。島の裏側の岩場に着いた。ぴかぴかとまぶしい海面が目飛び込んできた。

(吉野万里子 『階段ランナー』)

※(文中のことばの意味)

江の島 : 神奈川県藤沢市にある相模湾に浮かぶ島。

先生 : 瑠衣や広夢、山本が通っている高校の元教師。高

桑曜太郎先生。通称タクワン。高校を退職し、現在

は京都で母が経営していた塾を引き継いでいる。自

らに階段研究者と称し、『階段おじさん』というタ

イトルで日本各地の階段を紹介するブログを運営し

ている。

ガタイ : 体格。

シェア : 分け合うこと。

伏見稲荷 : 京都市伏見区にある伏見稲荷大社のこと。

マイナー : あまり知られていないこと。

舌に気をつけて : タクワンが、伏見稲荷の階段を下る時

に、無意識のうちに舌が歯にこすれることが何百回も続き、翌朝舌が痛かったというエピソードがあり、『階段おじさん』のブログで舌に気をつけるように注意をうながしていた。

問1 〰〰〰線①〰〰〰線②〰〰〰線③〰〰〰線④のことはについて、文中における意味として最もふさわしいものを次の中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

① あべこべ

ア 空前絶後
イ 終始一貫
ウ 天地無用
エ 本末転倒

② 手招き

ア 誘惑
イ 刺激
ウ 邪魔
エ 挨拶

③ 辺鄙な

ア 静かな
イ きれいな
ウ 危険な
エ 不便な

問2 〰〰〰線①「うわ、このアングルいいや。海面がさ」に用いられている表現技法を何といいますか。次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 対句法
イ 擬人法
ウ 反復法
エ 倒置法

問3 〰〰〰線②「つんとした顔」とありますが、この時の私の気持ちとして、最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア せっかく写真を撮ろうとしているのに、逆光だなんて最悪だと感じている。
イ 本当は広夢たちと江の島に来られてうれしいが、それを隠したいと思っている。
ウ 強風で髪の毛が逆立っているのに、写真をリクエストする広夢に不満を抱いている。
エ 広夢のことが好きで江の島にさそったが、いざ一緒に来てみて恥ずかしくなっている。

問4 〰〰〰線③「こちらの悩み」とありますが、どのような「悩み」ですか。それがわかる一文を文中からぬき出し、はじめの五字で答えなさい。ただし、〰〰〰線③より前の文からぬき出すこと。句読点なども字数に数えます。

問5 ー線④「江の島に来られて嬉しいなあ」とありますが、それはなぜですか。それを説明した次の文の□にあてはまることばを、文中から十二字でぬき出しなさい。

江の島には階段の数が多くあり、広夢は□。

問6 □x□にあてはまる数字を、漢数字で答えなさい。

問7 ー線⑤「二人とも気を遣って、わたしに一番大きい欠片をくれた」とありますが、なぜですか。その理由として、最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 江の島への日帰り散歩を企画してくれた感謝を表すため。
- イ 二人ともが「わたし」に対して好意を持っているから。
- ウ 「わたし」がタコせんべいを食べたいと希望したから。
- エ この先多くの階段を上るので体力をつけてもらうため。

問8 □y□にあてはまることばとして、最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 声
- イ 音
- ウ 腕
- エ 足

問9 ー線⑥「はつきりしておかなくてはいけない」とありますが、どのようなことを「はつきりしておかなくてはいけない」のですか。それを説明した次の文の□1・□2にあてはまることばを答えなさい。ただし、□2は文中から十七字でぬき出し、□2は五字以内で答えなさい。

□1と考えるわたしは、JR京都駅ビル大階段駆け上がり大会に□2ということ。

問10 本文の表現の説明として、最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 前半の「きらつきらっだ」や後半の「びかびかとまぶしい」など、海の輝きを表現することで、「わたし」の気持ちが始晴れやかである様子を表している。
- イ 「ん？」や「は？」や「え？」など、短い会話をたくさん用いることで、読者に対して登場人物の心情が簡潔に伝わるような工夫がなされている。
- ウ 「山本」という脇役を登場させることにより、階段を上ることのつらさを強調し、話の全体に緊張感をもたせるようにしている。
- エ 「広夢」の受験を控えているという立場により、これから待ち受ける困難を暗示し、青春時代の甘酸っぱさを引き立てている。

三 次の（ ）にあてはまることばとして、最もふさわしいものをあとから一つずつ選び、漢字に直して答えなさい。

- ① 全員が一人にならないように気を（ ）。
- ② 先生にしかられてへそを（ ）。
- ③ 応用問題の難しさにさじを（ ）。
- ④ 相手は幼い子なので手心を（ ）。
- ⑤ 問いつめられて口を（ ）。

なげる くばる わる くわえる まげる

四 次の――線のカタカナは漢字に直し、漢字は読みを答えなさい。

- ① 海洋プラスチックごみのタイサクをたてる。
- ② 部下の努力をミトめる。
- ③ ウチュウ旅行が実現するのは何年後だろうか。
- ④ 仏様を前にしてシセイを正す。
- ⑤ 先生にほめられて、学習イヨクが高まる。
- ⑥ インターネット上で個人情報が拡散される。
- ⑦ トラックから荷物を降ろす。
- ⑧ 飼い主に忠実な犬で感心する。
- ⑨ 寒いのでマフラーを巻いて出かける。
- ⑩ 旅行先で郷土料理を味わう。

これで問題は終わりです。